



1/24~1/30 は「全国学校給食習慣」でした！

本校でもこの期間にいろいろな取り組みを行いましたので、ご紹介します。

● 校内での取り組み

郷土料理のフードモデルを展示しました。

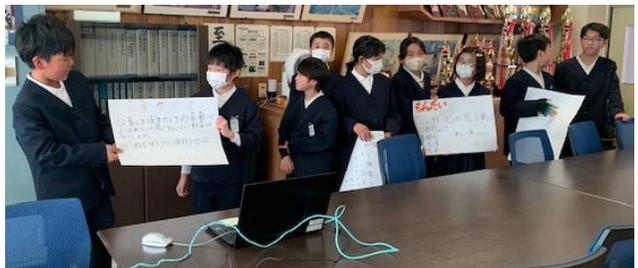
お家で食べたことがある料理や給食にも登場する料理があり、みなさん、興味をもってみてくれました。



● 給食委員会での取り組み

< 食育クイズ >

朝活の時間に zoom で食育クイズを配信しました。ペアでそれぞれが工夫してクイズを考えました。各クラスで楽しんでクイズに参加してくれた様子でした。



< 調理員さんにインタビュー >

自分たちで質問内容を考え、調理員さんにインタビューをしました。気になる質問を直接聞くことができ、給食委員会の児童も勉強になったようです。インタビュー内容は動画にして各クラスで見ることができるようになりました。

「おいしかったです。」
と言ってくれたときが一番
やりがいがあり、作ってよ
かったなと思います。

一番やりがいがあることは
何ですか？



食育パワーアップ作戦授業

～感謝して食べよう～

4年生では「作ってくださる人に感謝して食べよう」というテーマで、食べ物がどのように作られ、どんな苦労があるのかを学びました。

現在、社会科では祖谷地方の勉強も進めており、地域の特産品や農業の様子についても学んでいます。授業では、祖谷地方のそば作りについてのDVD視聴を通して、そば農家の方々のそば作りの大変さや喜びを知ることともに、実際にそば米の硬さを触れてみる体験を通じて、食材への理解を深めました。祖谷地方では、山の斜面や寒暖差が大きいという気候を活かした栽培が行われていることにも触れ、地域の農業に対する関心が高まりました。

農家の方々は、すべて手作業で行い、腰の痛みやイノシシなどの動物による被害に悩まされながらも、「おいしいと言ってくれれば嬉しい」という思いで仕事に励んでいることを知り、子どもたちはその感謝の気持ちを持って食べることの大切さを感じていました。

授業は栄養教諭を中心に進行され、特にクイズ形式で、給食に使われている食材や栄養について楽しく学ぶことができました。また、現在、栄養教諭を含む9名の職員が給食の調理に携わっており、その協力のもと、子どもたちは食事の大切さを実感しています。授業の最後には、子どもたちが「作ってくれた人の思いを感じながら食べる」「給食室で感謝の気持ちを伝える」「味わって集中して食べる」など、自分自身で頑張ることを決めました。栄養教諭からは「給食をしっかり食べてくれることが喜びである」との言葉もありました。

これからも、食べ物を大切にし、感謝して食べることの大切さを家庭でも一緒に考えていただけたらと思います。

